

UV スクリーンハウス

品番71457524

設営方法

設営は必ず2人以上で行なって下さい。ポールが倒れた時に、テント生地を破ったり、人に当たってけがをする危険があります。

- (1) 風向き、日当たり、水はけ等を考慮して設営位置を決めて下さい。風の影響を受けにくい場所をお勧め致します。
- (2) ポールを組み立てて下さい。長いポールが2本、短いポールが4本あります。

図A (3) 長いポールの先端を天井にあるグロメット (はとめ) (a) に差し込み、
図B 10mの張り綱を二つ折りにして輪を作りポールの先端のピンに引っ掛けて下さい。
 (テントを真上から見た図Aを参考にして位置を確認して下さい。)

図C (4) ポールが倒れないように一人がポールを保持して、もう一人が(3)の張り綱の下端をペグでしっかりと固定し、自在金具で長さを調節して下さい。ポールを垂直に立てた時、張り綱との角度が45度ぐらいになり、張り綱同士の開く角度が60度になるようにして下さい。

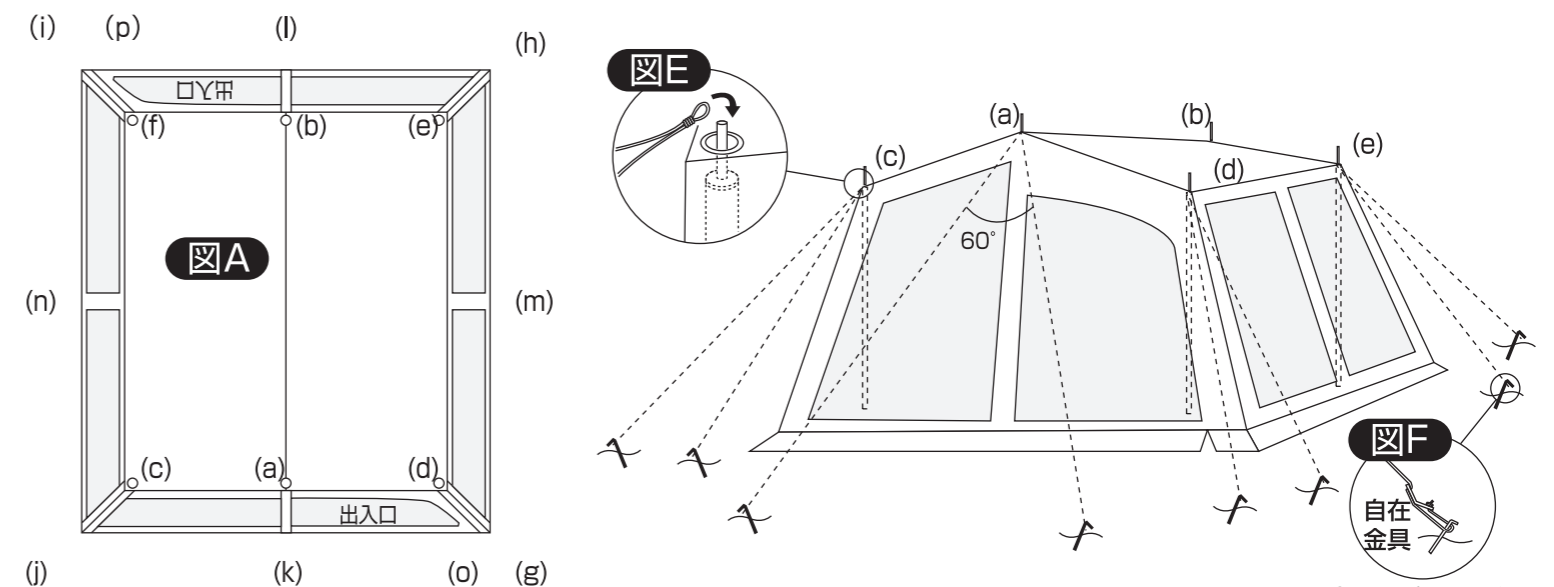
図D (5) (3)～(4)で立てたポールが倒れないようにテント生地を引っ張りながら、反対側のグロメット (b) にもう一本の長いポールの先端を差し込み、同様にして張り綱を引き、ペグで固定して下さい。

図E (6) テントの(c)～(f)の位置にあるグロメットに短いポールを差し込み、8mの張り綱を二つ折りにして輪を作り、ポールの先端のピンに引っ掛けて下さい。

図F (7) 張り綱の下端を(c)、(e)、(d)、(f)の順でペグで固定して下さい。この時、張り綱と地面の角度が45度ぐらいになり、張り綱同士の開く角度が60度になるようにして下さい。
 (再度すべての張り綱を調節しテントにたるみが出ないようにして下さい。)

図G (8) テントの裾のループ (g)～(p) にペグを打ち固定して下さい。
図H この時すべてのジッパーを閉じ、ロックを掛けた状態にしておいて下さい。

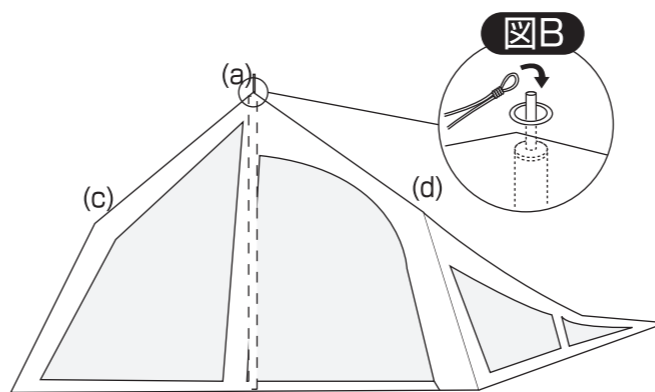
- (9) 雨天又は強風時には別売の自在ロープとペグを用いて各ポールから補助の張り綱を引いて下さい。



図E

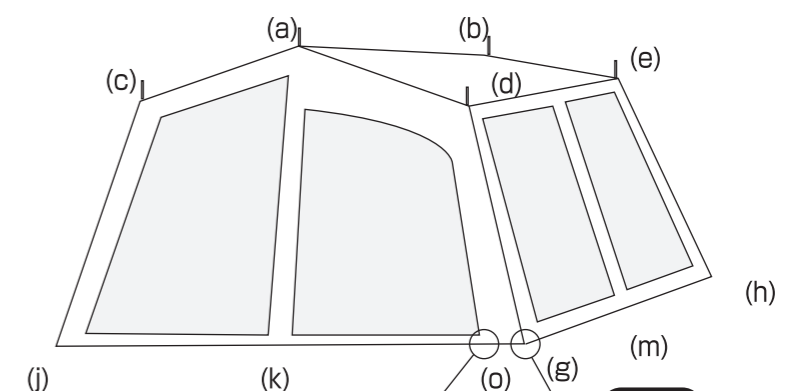
図F

自在金具
金具の向きに注意



図B

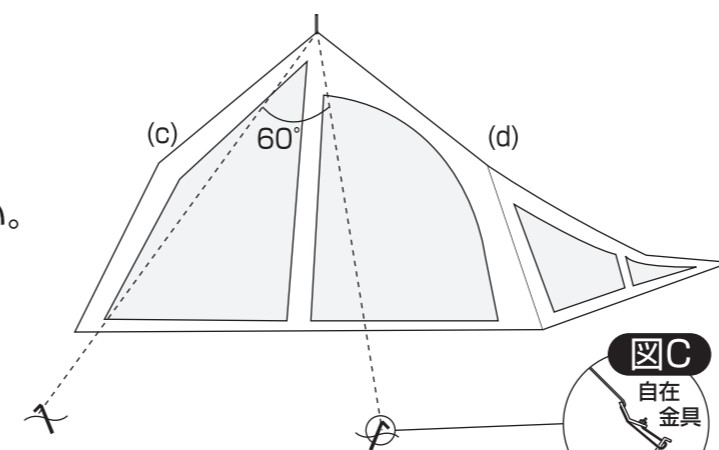
図C



図G

図H

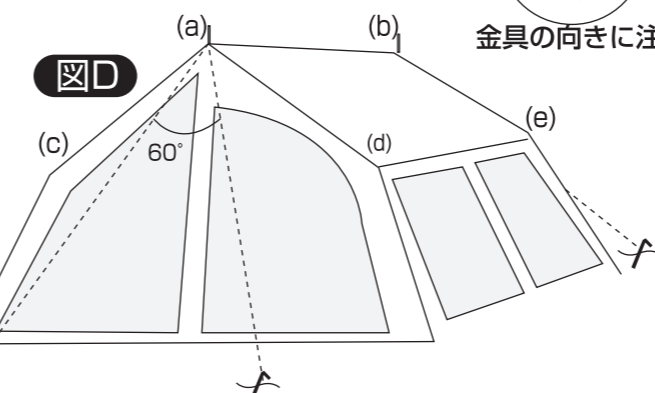
ロック



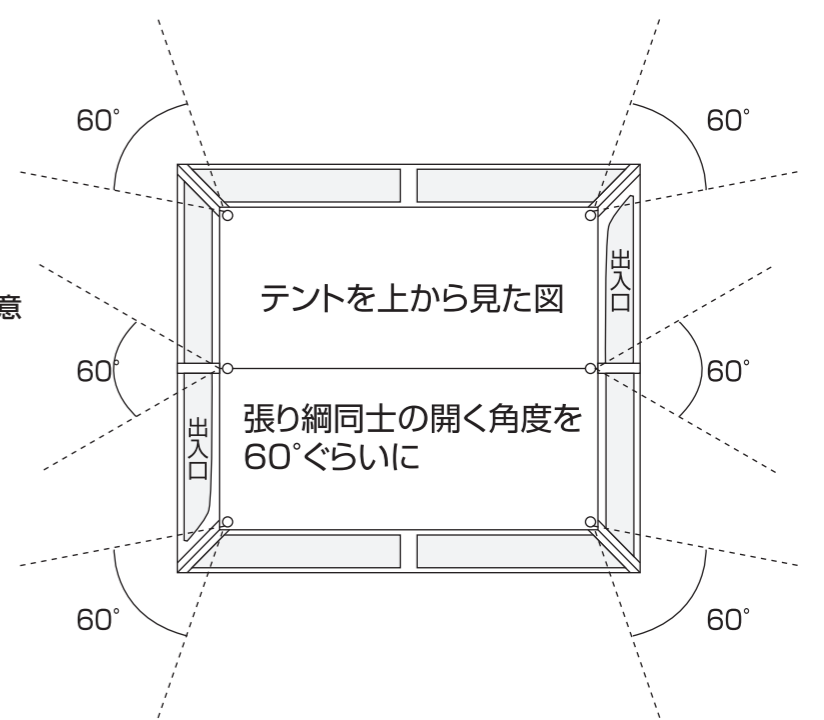
図C

自在金具

金具の向きに注意



図D



テントを上から見た図

張り綱同士の開く角度を60°ぐらいに

部品構成表

テント	1張		ペグ 22本
フレーム	φ19mm スチール(210cm×2本)	アクセサリ	約10mロープ 2本
	φ19mm スチール(180cm×4本)		約8mロープ 4本
			ハンマー 1本(サービス品)